

語形変化2

動詞

年 組

氏名



Point!

前回学んだように、見出し語は基本となる形で載っています。
動詞の基本となる形を原形といいます。今回は動詞の学習をしましょう。

1 例を参考に、次の動詞の原形を書いて辞書を引き、1つ目の赤色で示された意味を書きましょう。

[例] walks, walked, walking → walk (歩く)
lives, lived, living → live (住んでいる)
studies, studied, studying → study (…を勉強する)

	原形	意味
(1) talking	→ ()	()
(2) cooks	→ ()	()
(3) saving	→ ()	()
(4) arrived	→ ()	()
(5) cries	→ ()	()
(6) tried	→ ()	()

原形がどうしてもわからないときは、似ている単語がないか辞書を引いてみましょう!



Tips!

動詞の不規則変化

動詞の中には、上記とは異なる形へと不規則に変化するものがあります。そのような動詞のうち、代表的なものを不規則(助)動詞変化表(pp. 2071-2074)でアルファベット順にまとめています。不規則動詞は日常でよく使う大切なものが多いので、しっかり覚えましょう。

2 次の動詞を不規則変化表(pp. 2071-2074)で探し、過去形と過去分詞を書きましょう。

	過去形	過去分詞
(1) begin	→ ()	()
(2) catch	→ ()	()
(3) eat	→ ()	()
(4) feel	→ ()	()
(5) go	→ ()	()
(6) know	→ ()	()
(7) put	→ ()	()
(8) see	→ ()	()
(9) take	→ ()	()
(10) write	→ ()	()

2種類の動詞

自動詞・他動詞

このページでは
自動詞と他動詞に
ついて学びましょう。



Tips!

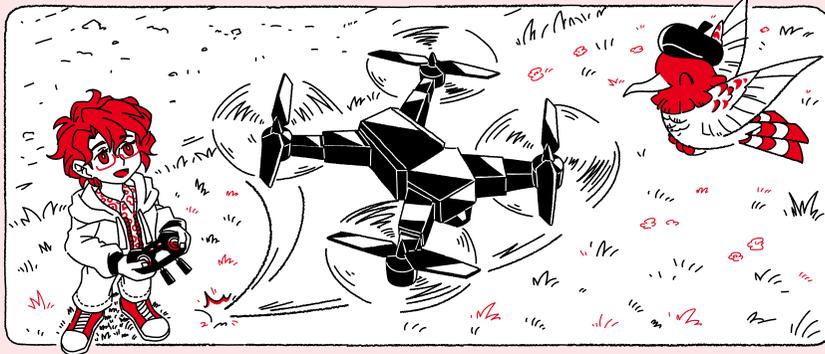
自動詞・他動詞

とは、それぞれ自動詞と他動詞を表します。両者の最も大きな違いは目的語の有無です。

(自動詞) : 目的語を伴わない (他動詞) : 目的語を伴う

目的語は動作の対象となる語句です。主に名詞(句)が目的語になります。

例えば、下のイラストでは“a drone(ドローン)”が“fly(…を飛ばす)”の目的語です。



fly a drone
他動詞 目的語
ドローンを飛ばす

fly 飛ぶ
自動詞

目的語の有無を確認して、自動詞と他動詞のどちらなのか見極めてから辞書を引きましょう。

3 次の動詞を辞書で引き、自動詞と他動詞の意味の有無を確認し、あるものに○をつけましょう。

- (1) love (自動詞) ・ (他動詞)
 (2) eat (自動詞) ・ (他動詞)
 (3) learn (自動詞) ・ (他動詞)
 (4) arrive (自動詞) ・ (他動詞)
 (5) develop (自動詞) ・ (他動詞)
 (6) discuss (自動詞) ・ (他動詞)

自動詞の意味しかない場合や、
他動詞の意味しかない場合も
あるんだね!



4 次の語句を読み、下線部が自動詞ならばに、他動詞ならばに○をつけましょう。

- (1) walk a dog ・
- (2) walk along the river ・
- (3) grow vegetables ・
- (4) grow very rapidly ・
- (5) run a flower shop ・
- (6) run to the station ・
- (7) smell a flower ・
- (8) smell good ・

調べたい動詞が
なのかなのか、
見極めることが必要だね!

